

ゆっくり じっくり

＜今月の聖句＞ 野原の花がどのように育つか考えてみなさい。
(ルカによる福音書 12章 27節)

4月、桜やハナミズキを眺めながら通い始めたと思ったら早いもので、もう6月。チャペルへつづく坂道は今大輪のアジサイと黄金に輝くキンカンが出迎えてくれます。春当初、お母さんとはじめて離れて、心細かった子どもらも梅雨の晴れ間の日差しを浴びながら、初夏の花々に語りかけかえるさんいないかなあ、と牧師館の池をのぞきこんでいる。自然の中に息づく小さな命を愛でながら保育者とかわす何気ない、静かな会話と共に子どもたちの心はおだやかに、やさしく育まれています。

はるか昔、人類がこの地上にうぶごえを上げたときも神さまはきっと、このように、そっとわたしたちに寄り添い草花や生き物の命を通じて、わたしたちの心ふかくに語りかけゆっくり、ゆっくり、育つのを喜び眺めていたことでしょう。

そのときのように、つくしの子どもたちにも育ててほしい。急ぎすぎて、大切なものを忘れ物したらもったいない。心の成長も同じです。

ゆっくり、ゆっくり、歩くよりおそいペースでかまわないじっくり、たっぶり、神さまからの素朴な恵みを味わいつくしにっこり、ほっこり、あふれる感謝で心に笑顔が輝きはじめる。そんな、つくしの子どもたちに、今この時も神さまはそっと寄り添い微笑んで、やさしく語りかけていることでしょう。

(つくし保育園園長 つだかずお)

＜お庭のチャペル 礼拝のご案内＞

毎週日曜日午前10時30分 だいが教会
「花の日こどもの日礼拝」へどうぞ
6月20日(日)午前10時30分

大自然も、子どもたちも、神さまに育まれる大切な命。
命をくださる神さまに、お花をささげて感謝しましょう。